

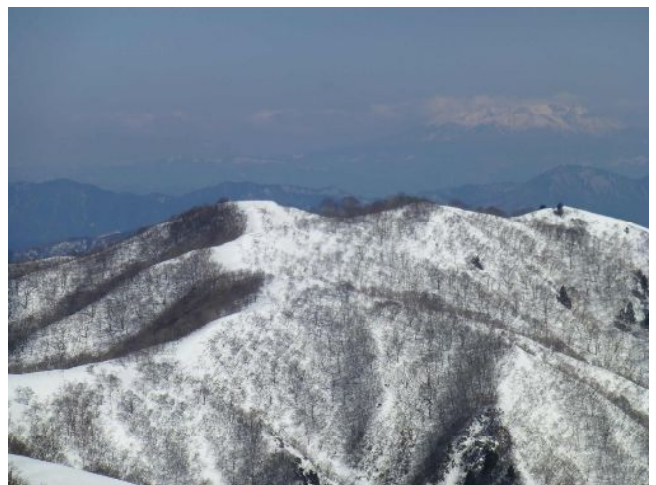
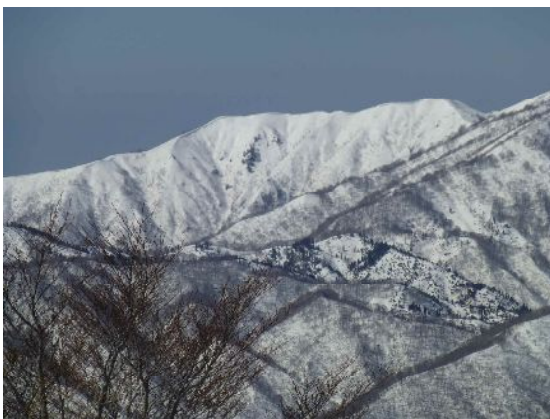
無雪期のブンゲンは登ったことがあるが、積雪期のブンゲンは初挑戦。奥伊吹スキー場の駐車場に車停めて登山準備。駐車場から動く歩道に乗り中間部で降りて、高みにある若竹荘の右手から裏山に登る。結構急斜面である。登りきると、本日の目標の尾根が見えるが、感覚的に尾根に取り付くと間違いが起こるので地形図で確かめる。



本日の目的の尾根は考えていた場所より随分下に位置する。残雪の急斜面を、ワカンを着けて一気に下り、小さな谷を2本徒渉するが、雪解けで水量があり、多少ためらい勝ちに対岸に渡る。谷の左岸から尾根を目指すが、この急斜面で小一時間深雪に喘ぐことになる。尾根に乗ってしまうと斜面が穏やかで意外に楽に歩ける。朝の日差しを浴びながら雪の締まった稜線



歩きは楽しい。遠くの風景を眺めながら木々の間をすりぬけ、ひたすら頂上を目指して歩く。先日のものらしい踏み跡が所々に残っているが、多人数ではなく単独行だろうか。南に向かってしばらく歩くと、右手からの尾根と合流する。ここから進行方向は南東に変わる。尾根コースの登りは尾根の最高部を繋いで歩くと間違いは無いが、下山時は支尾根に紛れ込みやすいので注意がいるだろう。



雲もなく水蒸気も少なく本日は快晴。ブンゲンに近づくにつれ尾根が広くなり、南に雄大な伊吹山が見えてくると山頂は近い。ブンゲンの山頂にあがると、白山連峰から日本アルプス御嶽山や乗鞍岳などの連なりが展望できる。なんとも長閑な風景である。強風を避けて山頂の東斜面で昼食を



とる。素晴らしい展望を楽しみながら贅沢な時間を過ごす。仲間たちの晴れ晴れとした笑顔も素晴らしくありがたい。

去りがたい山頂を後にして下山ルートに向かう。雪面が安定しているのでワカンやアイゼン無しのキックステップで歩くことができる。目の前に見えるスキー場を目指して無意識に歩いていると、予定コースを外れていることに気がついたが、地形図を見ると問題なくリフトの最上部に向かうことが出来るのでそのまま進むと、やがて、スキーヤー達の歓声が聞こえてきた。そこからは一気にゲレンデの端っこをスキーヤー達の邪魔にならないようにひたすら歩く。

●メンバー 他3名

●コース

駐車場 9:17～稜線 10:20～山頂 12:10～リフト 13:10～ゲレンデ下 13:47～駐車場 13:55

